

水災害・水資源分野における気候変動の影響と適応に関するシンポジウム

～後悔しない適応とは～

主催：文部科学省統合的気候モデル高度化研究プログラム、文部科学省研究開発局、
国土交通省水管理・国土保全局

後援：農林水産省農村振興局、環境省地球環境局、
京都大学 IPCC ウィークス、土木学会水工学委員会、地球環境委員会、
海岸工学委員会、地盤工学委員会、計画学委員会、
水文・水資源学会、地盤工学会、日本自然災害学会

開催日：2019年5月24日（金）13:00～17:30

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール

趣旨：

本シンポジウムは、気候モデル出力を用いて影響評価を実施し、適応への基本的な考え方を議論してきた文部科学省統合プログラムの研究者と、水災害・水資源の適応へのあり方をより具体的に議論してきた国土交通省水管理・国土保全局、ならびに関係する省庁、研究者が一堂に会して、「水災害・水資源分野における、地球温暖化による気候変動影響と適応策」に関し、情報共有だけでなく、後悔しない温暖化適応とは何か、そのために何を研究し、どのような施策を講ずべきか、を一緒に議論する場であります。

内容：

13:00～14:20（第一部）

開会の挨拶： 住 統合プログラムプロジェクトディレクター
文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課 横地 課長
国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 廣瀬 課長

基調講演： 佐伯 研究開発局長 / 塚原 水管理・国土保全局長

講演： 中北 統合領域 D 代表

（休憩）

14:35～17:30（第二部：パネルディスカッション）

コーディネーター：原澤 統合 D プログラムオフィサー、中北（京大教授、統合領域 D 代表）

パネラー：統合プログラム側（佐藤(文部科学省環境科学技術推進官)、立川(京大教授)、森(京大教授)、
多々納(京大教授)、田中賢治(京大准教授)、高藪(統合領域 C 代表、気象研究所)）
実務省庁側（森本(国交省河川計調室長)、光橋(国交省総合水資源管理戦略室長)、
小島(国交省海岸室長)、岸田（国交省都市局土地利用調整官）、
石井（農水省計画調整室長）、大井(環境省地球環境局総務課気候変動適応室長)

閉会の挨拶：原澤 統合 D プログラムオフィサー

参加受付：

<https://www.jamstec.go.jp/tougou/tougoud-sympo/>